



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2012年 10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

第16回日本太鼓全国フェスティバル ～福島民報創刊120周年記念～



(開場を待つお客様の列)

第16回日本太鼓全国フェスティバルを、9月30日(日)、福島県郡山市の郡山ユラックス熱海において、2,000人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、福島民報社共催、東北太鼓連合と福島県支部が主管となり、文化庁のほか、福島県、郡山市等地元の後援をいただきました。

当日は天候にも恵まれ、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。今回は、東北太鼓連合の初代会長に就任された渡部世一氏が会長を務める福島民報の創刊120周年を記念して行われました。

公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長と共催の福島民報社を代表して渡部世一会長の挨拶があり、原正夫郡山市長のご祝辞と続き幕を開けました。続いて全国トップレベルの11チームが渾身の演奏を披露しました。

以下出演団体をご紹介します。



(宮城県合同チーム)

1. 福島県合同チーム(福島)…福島県支部加盟団体の会員から選ばれた100名の皆さんによる豪快な演奏でした。日本財団から東日本復興支援として頂いた太鼓で気持ちを一つにしての演奏でした。
2. 蘭導(秋田)…流派や伝統にこだわらない様々な打法や編成をつくり、音楽性の高い「観る太鼓」を目指す秋田県を代表するチームです。安定感のある地打ちと旋律で観客を楽しませました。
3. 高野右吉と秩父社中(埼玉)…京都祇園祭、飛騨高山祭と並び「日本三大曳山祭」のひとつ、埼玉県秩父地方に伝わる「秩父夜祭」で山車の動きにあわせて演奏する太鼓を舞台で再現しました。
4. 宮城県合同チーム(宮城)…宮城県支部加盟団体の会員から選ばれた40名の皆さんが震災からの復興に向かって演奏しました。楽天の球場で行った合同演奏の経験を活かした演奏でした。
5. 御諏訪太鼓保存会(長野)…今日の黄金時代を迎えられた日本太鼓の礎となるチームの一つです。今回は、諏訪地方に古くから伝わる「天鳴竜尾太神楽」を披露いたしました。
6. 富岳太鼓竜神組(静岡)…知的障害を持つ皆さんと施設の指導員による演奏を披露して頂きました。練習を積み重ねた息の合った見事な演奏に、会場から感嘆の声と大きな拍手があがりました。
7. 輪島・和太鼓虎之介(石川)…3月に群馬県で開催した第14回日本太鼓ジュニアコンクールの優勝チームです。迫力満点の演奏に会場から大きな声援が飛んでいました。
8. 八丈太鼓六人会(東京)…かつて刀を失った流人がその鬱憤を太鼓のバチに託して打ち鳴らしたもので、独自のリズムで個性的な太鼓の音が八丈島の雰囲気醸し出していました。
9. 長谷川義と豊の国ゆいん源流太鼓(大分)…昨年度のシニアコンクールで名人位に輝いた長谷川義氏と2007年に由布市無形文化財に指定されたゆいん源流太鼓が迫力ある演奏を披露しました。

10. 気仙町けんか七夕保存会(岩手)…岩手県陸前高田市に伝わるけんか七夕太鼓は、岩手県無形文化財に指定されている山車七夕祭りを舞台で再現して福島の皆さんに披露しました。
11. 手取亢龍太鼓保存会(石川)…昔から地元で伝わる虫送りの太鼓で有名なチームです。大きな桶胴太鼓を演奏しながら客席から登場し、スケールの大きな演奏を披露しました。

第17回大会は、富山県にて開催！

次回フェスティバルは、2013年7月7日(日)、富山県砺波市「砺波市文化会館」にて開催します。



(フィナーレ)

* 福島県支部の渡辺事務局長より、フェスティバルについての感想をご寄稿頂きました。

第16回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

福島県支部 事務局長 渡辺 勉

福島県で初の開催となる「第16回日本太鼓全国フェスティバル」が多くの皆様のご支援とご協力で成功裡に終了できましたことに衷心より感謝申し上げます。

また、会場に足を運んでいただきましたお客様に厚く御礼申し上げます。そして、フェスティバルの実施のため準備から合同演奏の練習会、当日の運営にまで関係者、スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

フェスティバルが福島県で開催されることとなり、福島県の太鼓チームと縁の深い郡山ユラックス熱海での開催を希望しました。ここは、2003年に開催された「第4回日本太鼓ジュニアコンクール」の会場で、本県で毎年開催している「ふくしま太鼓フェスティバル」の会場でもあり、ホールは2,000人以上収容できます。開場時間が近づくにつれ、お客様の列が長くなって胸をなでおろしたものです。

公演は、地元福島で合同演奏から始まりました。県内の加盟団体から出演者を募り、練習を重ねました。打ち手100名による迫力ある「大地の響き」の演奏は、来場者2,000人の観客を魅了しました。

その後、震災で甚大な被害を受けた宮城県合同チーム、岩手県の気仙町けんか七夕保存会も演奏を披露。日本を代表する打ち手の演奏は出演者全員による感動のフィナーレまで観客席から大きく温かい拍手が送られました。

昨年3月の東日本大震災で、東日本全域にわたり甚大な被害を受けました。地震や津波の被害に加え、福島県は原発事故の影響が震災から1年7カ月以上経った今なお続いており、復興の道は依然厳しいものがあります。震災直後から全国の皆様よりたくさんの励ましのお言葉やご支援を頂戴しました。心温まる励ましは私たちに復興への希望の光を与えてくれました。特に、日本財団、日本太鼓財団、日本音楽財団の皆様には多大なるご支援を賜りました。今回のこのような事業を開催できましたのもお力添えの賜物と感謝申し上げます。

また、今年5月には東北太鼓連合を設立。東北の太鼓文化の復興を懸けて力を合わせ、技術の向上と青少年の健全育成、太鼓文化の発展を目的に東北各県の皆さんと手を携えることになりました。7月には東北太鼓連合の初の事業となる東日本復興支援「感謝太鼓まつり」を宮城県で開催。来年2月には、東北太鼓ジュニアコンクールを福島県で開催を予定しております。今後の活動に皆様の温かいご協力をお願いいたします。

来年のフェスティバルがまた盛大に開催されますことを祈念し、お世話になりましたすべての皆様に重ねて感謝と御礼を申し上げます。



(福島県合同チーム)



(開会式で挨拶する渡部世一支部長)



(蘭導・秋田)



(高野右吉と秩父社中・埼玉)



(御諏訪太鼓保存会・長野)



(富岳太鼓竜神組・静岡)



(輪島・和太鼓虎之介・石川)



(八丈太鼓六人会・東京)



(長谷川義とゆふいん源流太鼓・大分)



(気仙町けんか七夕保存会・岩手)



(手取穴龍太鼓保存会・石川)

東北の復興に向けて (全国・全世界からの支援に感謝)

東北太鼓連合 会長 渡部 世一

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、関東以北特に太平洋沿岸の東北地方に大きな被害をもたらしました。死者15,900人、行方不明者2,800人、建物の全半壊30万棟と甚大な被害に加え、福島県では翌日に起きた福島第一原子力発電所の事故により16万人もの人々が避難生活を強いられています。

未曾有の大災害に茫然自失に陥りましたが、日本太鼓財団様はじめ全国の鼓友の皆様からいち早く安否の確認、励ましの言葉をいただき、どれほど勇気づけられたかしれません。この紙面をお借りしまして皆様から心から感謝申し上げます。

更に日本財団様におかれましては、日本音楽財団様が所有されておりました大切なヴァイオリン、ストラディバリウス「レディ・ブランツ」を売却した基金で、被災した茨城県を含む東北地方の太鼓団体62団体に486台もの太鼓購入・修理の支援をいただきました。この支援は打ちひしがれた東北地方の太鼓団体に大きな希望の光を見出すことができました。支援を受けた太鼓団体は、言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでございます。

東北地方の太鼓は、本来地域に密着した力強い太鼓であったはずですが、ここ数年ジュニアコンクールなどでなかなか良い成績を上げられないことを危惧しておりました。これを何とか打開しなければならないと思い、数年前から各県代表が集まって東北一丸となって活動できる組織づくりを模索しておりましたが、ようやく昨年機運が高まり今年5月13日、東北地方の連携と交流、演奏技術の向上を目的に「東北太鼓連合」を結成することができました。

連合の最初の事業として、7月1日、宮城県登米市において「東日本復興支援感謝太鼓まつり」を開催し、元気な東北地方の太鼓を見ていただくとともに感謝の意を表したところでございます。

また、大震災の際、全国・全世界の鼓友からご支援賜りました支援金までいただき重ねて御礼を申し上げます。こういった組織ができたところに全国・全世界の鼓友からの支援金を賜ることができましたこと感謝にたえません。

東北太鼓連合ではこの支援金を、連合の目的を早期に達成するため、被災してジュニアコンクールへの参加が困難な団体への支援や、被災地の皆さんを励ますための演奏会の開催等、全国・全世界の皆様のお心にお応えするべく有効に使わせていただきたいと思います。

本来ならご支援賜りました皆様一人一人に御礼申し上げるべきところでございますが、この紙面にて御礼申し上げる失礼をどうぞお許しいただきたいと存じます。

ありがとうございました。心から感謝申し上げます。



(Lady Blunt Photo by Tarisio)

第14回日本太鼓全国障害者大会 ～静岡県御殿場市で開催～

10月21日(日)、第14回日本太鼓全国障害者大会を、静岡県御殿場市の「御殿場市民会館」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、社会福祉法人富岳会共催、日本太鼓財団静岡県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、静岡県、地元御殿場市等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、35年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。この大会は1998年富岳会主催のもと「障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催され、翌年「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で全国大会として実施しております。

第14回目を迎える今回は、日本太鼓に積極的に取り組んでいる15府県の28団体(出演者数446名)が一堂に会し、日ごろの練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、「天手鼓舞」(広島)、「御諏訪太鼓保存会湖響龍夢」(長野)の2チームが初めて参加しました。

また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは初開催以来、14回連続で出場をされています。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを自身の言葉で一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また全員が心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。1,200名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。

また、会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

来年の15回大会は東京での開催となります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

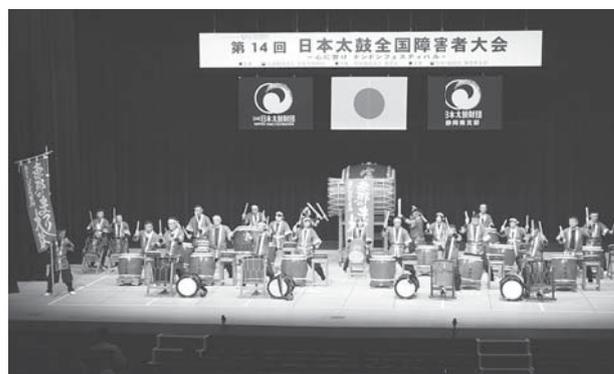


(豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」・大阪)

＜出演団体一覧＞

(出演順28団体) ☆は初出場

- 1 静岡 富岳太鼓竜神組
- 2 大阪 二重障害者福祉センターすまいる
- 3 京都 与謝の海支援学校寄宿舎
- 4 石川 明和特別支援学校龍剣太鼓
- 5 大阪 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」
- 6 長野 すみれ太鼓
- 7 山口 あそかの園同朋太鼓
- 8 長野 諏訪養どんどん太鼓
- ☆9 広島 天手鼓舞
- ☆10 長野 御諏訪太鼓保存会湖響龍夢
- 11 静岡 遠州袋井太鼓保存会スマイルズ
- 12 福島 あだたら和太鼓
- 13 富山 鼓友夢光組
- 14 福島 やまびこ太鼓
- 15 静岡 ハンディキャップ太鼓の会
- 16 兵庫 神戸ろう太鼓集団鼓神
- 17 愛媛 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会 鼓龍会
- 18 大分 糸口学園糸口太鼓
- 19 静岡 伊豆医療福祉センターどんつく
- 20 静岡 静岡北特別支援学校北龍太鼓
- 21 兵庫 ひとみ太鼓
- 22 静岡 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
- 23 新潟 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会
- 24 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 25 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 26 石川 南陽園ふれあい和太鼓
- 27 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 28 岐阜 恵那のまつり太鼓



(恵那のまつり太鼓・岐阜)

第15回大会は、東京にて開催!

次回障害者大会は、2013年10月6日(日)、東京都文京区「文京シビックホール」にて開催します。詳細は事務局までお問合せ下さい。

第14回日本太鼓全国障害者大会報告

社会福祉法人富岳会 副理事長 山内 強嗣

10月21日、北は福島県から南は大分県まで450名を越える出演者と、100名のボランティアスタッフが静岡県御殿場市に集い、第14回日本太鼓全国障害者大会が開催された。

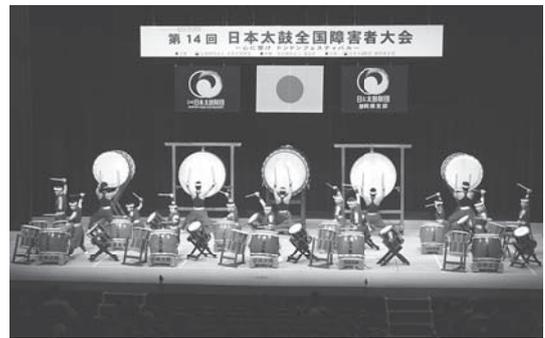
当日は快晴。まず、日本一の霊峰富士山が出演者を出迎えてくれたことが実行委員側としては何より嬉しく、ほっと胸を撫で下ろす。遠路はるばる御殿場まで来て頂いて富士山に逢えなかったらなんと言いつればよいのか…前日から気がかりで眠りにつくことが出来なかったほどだ(ちょっとオーバーですが)。

知的、聴覚、視覚、身体、精神と様々な障害のある方々の28団体が、5時間に渡って熱演を繰り広げる。裏方としては絶対に事故は許されない。しかし安全第一でゆっくりとした転換では舞台はただらしてしましうし、お客様も飽きてしまうに違いない。100%の安全と最速のスピード。静岡県太鼓連盟と富岳会のスタッフの腕の見せ所である。前日から、会場、出演者、誘導、大道具、食事等、全スタッフの入念な打ち合わせの甲斐あって、大会は無事故、ほぼノーミス。そして終了予定時刻より30分以上早く終了することが出来た。

出演者の皆様からも笑顔で「ありがとう」の感謝の言葉や「来年、東京で逢いましょう」と、未来へつなげるコメントをいただき、何とも言えぬ充実感を味わうことの出来た価値ある2日間であった。

正直、15年前、障害者の太鼓の大会を企画した時は、頑張っって稽古に励んでも、発表する檜舞台・大舞台のチャンスのない障害者の太鼓チームに発表の場を提供できないだろうか。まずは1回やってみよう。そして5年、10年後に第2回が開催出来たらどんなに素晴らしいことか。そんな思いで小さな小石を恐る恐る池にポンと投げ込んでみたところ、日本財団や日本太鼓財団の支援により、小さな波紋がどんどん広がり、大きなうねり(ムーブメント)となりました。まさか毎年開催で15回を迎えることが出来るなんて。夢のようです。

御協力いただきました各関係機関の皆様にご心より御礼申し上げます。そして来年の15回記念東京大会も、大成功目指し全力でぶつかる所存であります。



(富岳太鼓・静岡)

*初出場の2チームの体験発表をご紹介します。

御諏訪太鼓保存会「湖響龍夢」(長野)

和太鼓チーム「湖響龍夢」は、小学校の特別支援学校で和太鼓の活動に取り組んだ仲間たちが、「もっと太鼓を楽しみたい、ずっと太鼓をやりたい」と希望して集まったチームです。御諏訪太鼓保存会に協力してもらい、昨年10月に結成しました。月に2回、金曜日の夕方6時半から8時まで練習しています。

私たちは、障害があったり、支援学級で勉強していたりしても、精一杯努力してできることを増やし、仲間と支え合って色々なことに挑戦していこうと思っています。小学生から成人までの年齢幅の広いチームですが、助け合って仲良く練習しています。

チーム名は、ひとり一人の夢が諏訪湖に響くようにという願いを込めてみんなで考えました。



(湖響龍夢・長野)

天手鼓舞(広島)

私たちが今日演奏する「修羅(しゅら)」は、激しい闘いの様子をイメージして作られ、天手鼓舞の代表曲にするべく、約2年の歳月をかけて取り組んできた曲です。

いろいろな所で太鼓演奏に出させていただいておりますが、和太鼓というものは打てば音は出ますが、メンバーの気持ちを一心にし、本当の音に近づけようとしなければ、いい演奏はできません。メンバーたちは耳に障害を持っているため、アイコンタクトをとりながら本当の音に近づけようと奮闘しています。また、和太鼓を通してチームワークが一つにまとまることができるのも和太鼓の魅力ですね。

この曲は、ソロ・掛け合い・速いリズム等、課題が多く、毎回私達の頭を悩ませてくれる素晴らしい曲です。

どうぞ最後までご清聴ください。よろしく申し上げます。



(天手鼓舞・広島)

＜第55回日本太鼓支部講習会(山梨)＞

7月14・15日(土日)、山梨県支部主催による支部講習会が山梨県富士川町の「ますほ文化ホール」で行われました。今回は山梨県をはじめ、55名が参加しました。開会式では深沢登志夫支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

初夏の山梨で受講生は熱心に2日間の講習会を受けていました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 三浦 一浩氏
5級基本講座 松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級基本講座 8名受験 8名合格
4級基本講座 11名受験 11名合格
5級基本講座 27名受験 27名合格



(開会式で挨拶する深沢支部長)



(5級基本講座の様子)

* 7月に岩手県で開催した全国講習会の感想を支部長にご寄稿いただきました。

岩手で全国講習会を開催して

岩手県支部長 及川 賢一

去る7月21・22日の両日、岩手県一関市において第44回日本太鼓全国講習会が開催されました。岩手県支部としては3年前に支部講習会を開催いたしましたが、全国講習会は初の試みとなり不安と期待の中での開催となりました。

猛暑の夏真っ盛りの時期で受講する方々は大変だろうと思っておりましたが、なぜか2日間は気温20度を下回る過ごしやすさで涼しいくらいになり、まずは天気の様様に感謝。

会場は市街地を遠く離れた地にあり参加しにくいのではないかと言う事と、同日は岩手県中学校総合体育大会と重なってしまい参加者数の少なさに危惧を感じておりましたが、5月に発足しました「東北太鼓連合」の呼びかけや協力体制のおかげで120名を越える参加を得ました。同時開催された公認指導員更新研修会にも66名の参加を頂きました。ご参加下さいました全ての皆様に心から感謝。

「楽しかった。次もぜひ参加したい。」「色々な方と知り合えてうれしい。」という声も多く聞かれ太鼓技術研鑽のみならず交流にも成果があり喜ばしく、講師の先生方の優しく楽しい指導に心から深く感謝。

途中、静岡県支部の皆様から被災地岩手県支部への復興支援金の贈呈を賜り誠に感謝感激。

準備から運営の全てに渡りご協力・ご尽力下さいました地元太鼓連合組織「磐井太鼓同志会」の皆様には感謝してもしきれない気持ちでいっぱいでありました。

このような機会を設けて下さいました日本太鼓財団の皆様方に深く感謝を申し上げる次第であります。今回の経験を糧とし、岩手県支部執行部一同は今後もより積極的に色々な事業に一丸となり取り組んでいこうという意志統一ができたのではないかと確信しております。

不安や心配から始まった講習会でありましたが、終わってみれば達成感や勇気を得ることができた、感謝と太鼓の絆を強く感じる事ができた、私にとって忘れられない講習会となりました。

今回ご参集下さった全ての皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。



(講習会で挨拶をする及川支部長)

松本英昭会長が瑞宝重光章を受章！

当財団の松本英昭会長が、秋の叙勲で瑞宝重光章を受章されました。松本会長は、1964年から1999年にわたり、自治省(現・総務省)に勤務、自治事務次官等を歴任されました。この度の受章は、長年に渡る自治行政への功績が認められたものです。心よりお祝い申し上げます。



1級・3級公認指導員が誕生！

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て、このたび技術委員会で検討した結果、岡田博勝氏(大阪)と野方嘉孝氏(佐賀)が1級公認指導員に認定されました。おめでとうございます！

また、秦野智徳氏(北海道)、今村伸吾氏(三重)、細川智彦氏(栃木)、遠藤美恵子氏(静岡)の4名が3級公認指導員に承認されました。昇級された方々、おめでとうございます。これで1級公認指導員は43名、2級44名、3級132名となりました。(2012年10月末日現在)

今後の益々のご活躍を期待しております。



岡田 博勝氏
(山城ノ国和太鼓鼓粋)



野方 嘉孝氏
(大和太鼓保存会)

第24回水心会夏祭り

9月14日(金)、水心会が親睦を目的に開催している恒例の夏祭りが行われました。今回は、前回に引き続き東京日本橋の三越本店屋上ビアガーデンで行われました。水心会は、当財団が助成を受けている日本財団や日本モーターボート競走会などの関連団体から構成されています。今年は天気にも恵まれ借り者競争やビンゴ大会は大賑わいでした。また、今年も当財団に要請があり、太鼓2チームが出演しました。東京の「邦楽アカデミー和太鼓大元組」と共に、大元組に指導を受けている日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が会場内ステージで演奏し、夏祭りを大いに盛り上げました。日ごろの練習の成果に参加者からは盛大な拍手が贈られ、仕事を離れた仲間たちの勇姿に会場は大喜びでした。都会のビルの屋上で、秋を感じるさわやかな風が吹き抜ける中、演奏者の方々も気持ちよく太鼓をたたいていました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)



(和太鼓「水心会」)

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月10日(金)東京・虎ノ門一丁目琴平町会のお祭りが開催され、「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」と、この夏祭りには初めて登場する「和太鼓水心会」が演奏を披露しました。

オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、家路に向かう人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



(邦楽アカデミー
和太鼓大元組ジュニア)

事務局だより

第46回日本太鼓全国講習会(宮崎県新富町)

*あわせて公認指導員の更新研修会を行います。

期 日：2013年2月23日・24日(土日)

主 催：(公財)日本太鼓財団

会 場：新富町文化会館(ルピナスみらい)
宮崎県児湯郡新富町大字上富田6367-1
Tel. 0983-33-6205

総合指導 古屋邦夫氏(技術委員会委員長)

専門講座

三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合睦夫氏(富山県)

助六太鼓講座(単式複打法) 今泉 豊氏(東京都)

締太鼓講座(単式単打法) 長谷川義氏(大分県)

基本講座(講師は全て1級公認指導員)

3級基本講座 安江信寿氏

4級基本講座 若山雷門氏

5級基本講座(初心者講座) 田中俊己氏

松元和敏氏

☆各種お問い合わせご意見は事務局へ☆

(公財)日本太鼓財団

〒107-0052港区赤坂1-2-2

Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

メール: info@nippon-taiko.or.jp

第56回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期 日：2013年2月16日・17日(土日)

主 催：日本太鼓財団東京都支部

協 賛：(公財)日本太鼓財団

会 場：日本財団ビル
東京都港区赤坂1-2-2
Tel. 03-6229-5577

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

基本講座(講師は全て1級公認指導員)

3級基本講座 安江 信寿氏

4級基本講座 渡辺徳太郎氏

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一氏

第9回日本太鼓シニアコンクール

文部科学大臣賞を目指して各地(14都県)からの参加とアメリカチームも加え31組が出場します。

日 時：2012年11月25日(日) 開演14:00(予定) 入場無料

*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：七尾サンライフプラザ(石川県七尾市本府中町ヲ部38)

主 催：(公財)日本太鼓財団、(社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

ジュニアコンクール予選・推薦の結果報告は11月末締切!!

2013年3月24日(日)石川県金沢市の「金沢歌劇座」で第15回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。海外からは、すでに大会が終了したブラジルから「天龍和太鼓」(サン・ミゲル・パウリスタ)と台湾から「葫蘆墩 Smile太鼓團」(台中市)の参加が決定しています。国内でも、各地において予選が行われておりますが、終了した支部は11月末日までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一斉送付致します。

なお、予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局までご連絡下さい。

公認指導員更新研修会について

ご承知の通り、公認指導員が資格の更新に必要な更新研修会が今年度開催されております。

すでに、北海道岩見沢市、岩手県一関市、岐阜県郡上市で行われこの後は、宮崎県新富町(2/23・24)の開催のみとなります。

更新を希望される方でまだ参加されていない方は、いずれかに参加されないと資格の停止、または降格等の対象となりますのでご注意ください。

また、体調不良等の事情により参加ができない場合は理由書の提出が必要となります。未提出の方は必ず提出するようにして下さい。

助成金交付事業の2013年度分を募集

太鼓事業の開催等に対して当財団が行っている助成金交付事業の2013年度については、次の通り予定しております。

対象期間：2013年4月より2014年3月までの間に実施する事業

申請締切：12月26日(水)

助成金額：1事業あたり20万円

*詳細は、財団事務局(黒木)までお問い合わせ下さい。Tel. 03-6229-5577